

すわみつえ通信

No.90 2019年 9月16日(月)

日本共産党鴻巣市議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

台風15号で被災された方に
心からお見舞い申し上げます

千葉県では台風15号通過から1週間経とうとしているのに、停電が復旧されずにいます。命と健康にかかわる事態を一刻も早く解消することが求められます。日本共産党は各地で救援調査活動を行っています。

鴻巣市では9日に原馬牽 滝馬室地域で一時停電がありました。復旧し、小中学校の給食の提供は遅延なく行えた。と教育委員会より報告がありました。ところが、中学校給食セフターの調理員4名が業務終了後、脱水症で救急搬送されました。1名は入院治療して翌日退院、3名は点滴治療で帰宅したとのこと。今後、十分な対策が求められます。



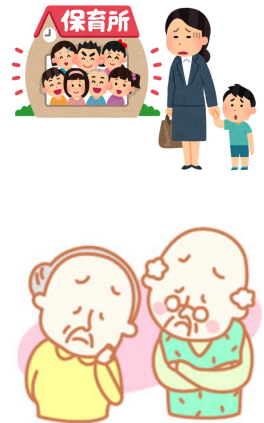
ゴルフ練習場の柱、民家約10棟の上に倒れる
千葉・市原市

文教福祉常任委員会で審査

1. 介護保険補正予算

給付額確定による国への返還と10月1日からの介護報酬改定(処遇改善加算・限度額引き上げ)に伴うシステム改修です。補正予算に賛成しました。

2. 一般会計決算認定



公立保育所8園の保育士さん等の処遇では、正規職員が1012人に対して臨時職員が1549人です。園庭がなくて保育士の資格が半数の人数でも可能な小規模保育園を新たに2園増やし13園とするなど、保育の民営化をさらに進めました。子どもたちひとりひとりに安心安全の保育を、働き方が多様化する保護者に十分な対応ができるよう、自治体が保育基盤を整えることが重要です。

「生活保護」では、相談・申請が増加する中で、ケースワーカー一人が担当するケースは81人です。査察指導員は規定では2人ですが当市では1人です。職員体制の充実で的確な行政サービスが必要で。

「敬老祝い金」は5歳刻みで5千円の支給となった最終年度です。「自治体は福祉の増進に努める」ことを指摘して反対をしました。

3. 介護保険特別会計決算

介護保険料が上がった初年度の決算です。介護保険料の滞納者は573

人で、そのうち、サービス利用において制限を受けている人が2人です。また、介護認定を受けても1割の人がサービスを利用していない現状です。一般会計からの繰り入れを行い、高すぎる介護保険料を払えるものにしていくこと。利用料が高いためサービスの利用を抑える人がいる現状を改善することを求め反対しました。

赤見台中学校 第34回体育祭で

連日の猛暑から開放された9月14日(土)は赤見台中の体育祭でした。「繋げ!! NEVER GIVE UP!」我らの熱い心々のタイトルを掲げ、「赤中の伝統を繋ぎ、あきらめないで臨む」と高らかな選手宣誓に、見る者の気持ちも高揚させられました。



すわみつえ
一般質問
9月20日(金)
9時40分頃から

傍聴に是非、足をお運びください

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

元財務相、元民主党顧問

藤井裕久さん語る



元財務相で元民主党顧問の藤井裕久（ひろひさ）さんに、野党共闘や安倍政治、日韓関係などについて聞きました。

聞き手・田中倫夫記者

野党共闘もっと強くなれる

野党共闘が始まって約4年です。2016年参院選では32の1人区のうち11選挙区で勝利し、今年の参院選では10選挙区で勝利しました。野党共闘はもっともっと強くなれると私は思っています。

共産党が野党共闘に入ってくれたことは、大変なプラスになったと思います。ぶれずに、野党の結束最優先で取り組んでくれているからです。

次は衆院選挙では、政策とともに政権選択が問われます。安倍政権に代わる政権をつくっていかねばならないという信念のもとに、野党は取り組み、力をつけることが大事です。

ふじい・ひろひさ＝1932年東京都生まれ。東大卒、旧大蔵省入省。77年、自民党公認で参院全国区で初当選。参院2回、衆院7回当選。大蔵大臣、財務大臣、民主党最高顧問などを歴任。2012年に政界引退

【藤井裕久さん談話のつづき】

3年前の参院選では野党共闘といっても、街頭でなかなか各党が横並びをしない、というようなことがありました。しかし今回は、共産党の集会に他の野党が参加するようになりました。

埼玉県知事選で野党候補が勝利したのも、参院選結果を踏まえて、野党が統一の行動をしたからだと思います。

野党議員のなかにいまだに、共産党に拒否反応を示す方もいます。私は「小異を脇に置いて、大きく団結すべきではない」とよく言っているのです。

角栄さんは言っていた 「戦争を知らないやつが 国の中心になると怖い」

私は戦後、大蔵省の役人となり、田中角栄内閣のときは二階堂進官房長官秘書官をしていました。その時、角さんはよく言っていたのです。

「戦争を知っているやつが世の中の中心である限り、日本は安全だ。戦争を知らないやつが日本の中心になったときは怖いなあ。絶対戦争なんかはダメだから、そうしたら経験者が戦争の悲惨さを教えてやれ」

その教えを守り、私は民主党の幹部だった時、歴史研究者を招いて、戦争にかかわる勉強会をやったり、政界を引退した今も戦争の話をして歩いたりしています。戦後も半世紀以上たち、戦争を知らない人が国会議員でもほとんどになつてきた。そんな中で登場したのが安倍晋三首相です。彼は、戦争につながる政治、政策を推進しています。

私はどうしても許せない。戦争への道を食い止めるには、共産党を含む野党が協力しあていかないとけません。投票率があがれば選挙は劇的に変わります。今回の参院選の1人区、埼玉県知事選がその一つでした。

安倍再改造内閣

異常な改憲実現への 右翼政治シフト

安倍晋三首相は9月11日、第4次安倍再改造内閣を発足させました。新閣僚には改憲、右翼団体「日本会議」と一心同体の「日本会議国会議員懇談会（日本会議議連）」の幹部らを多数起用し、改憲発議を目指した内閣改造です。

安倍首相は「憲法改正を必ずやり遂げる」と再び執念をあらわにしました。内閣改造に際して安倍首相が掲げた「安定と挑戦」は、安定というより、改憲勢力3分の2割れという参院選で示された民意に反し、真正面から改憲を迫る露骨な「挑戦」です。

無反省体質の改造内閣

首相の「腹心の友」が経営する学校法人に獣医学部新設（愛媛県今治市）を特例的に認めた加計学園問題で、文科省に強い圧力をかけた疑惑がもたれる萩生田氏を文科相に起用。裁量労働制の拡大をめぐりデータねつ造問題で批判を浴びた加藤氏を同ポストに再任など、新体制は国民愚弄（ぐろう）の無反省体質をより強く示す内閣となっています。

国民の求めない改憲推進と、国民の批判を省みない無反省体質は、国民との矛盾とあつれきを一気に拡大させかねません。（しんぶん赤旗 9月12日付）

改憲を阻止する世論と運動を高めることが急務です。改憲案発議への動きを推進する安倍政治を市民と野党の共闘で打ち砕きましょう。